

平成30年度(第67回)事業計画

第1.事業運営方針

1. 平成30年度当期利益を2億円確保する。
2. 収入は実績見込の4%以上の増加とする。
3. 職員の健康や教育への投資を行い、高い目標の達成に向け自分で考え行動する『自律型人材』の育成を行なう。

第2.総括

平成30年度予算計画

収入面では引き続き施設・出張による予防健診事業の伸びを見込んでいます。また厚生労働省が促進する「第三期特定健診・特定保健指導」を実施するための体制を整え、保健指導に関する事業を伸ばしていく計画です。

以上の要因から、事業収入は平成29年度実績予想に比べて3.58億円増収(104.2%)の89.34億円で計画いたしました。

一方、支出面では、昨年・一昨年と続いたMRI装置やCT装置、神戸健診クリニックの拡張にともなう機器設備の投資による減価償却費やリース料の増加、事業拡大に伴う人員の増加により人件費に関連する費用の増加を見込んでいます。また、さらなる事業拡大に対応するための帳票関連のアウトソーシング化や、画像診断に関する精度向上への投資を継続的に実施するとともに、職員の教育にも力を入れ、人材育成も積極的に行う予定です。そのため、事業支出は平成29年度実績予想に比べて3.54億円増(104.2%)の86.96億円となる計画といたしました。

この結果、平成30年度の当期利益は2.24億円を見込みます。

以下、事業計画に関して特記事項を示します。

． 医療事業

- (1) 安全性・信頼性の高い医療を提供するため、電子カルテ導入を推進します。
- (2) 精密検査の受診率向上を図るため、健診当日の保健指導後の予約体制構築や、精密検査受診の啓発用パンフレットを結果報告書に同封いたします。
- (3) 外来診療の増設や上部消化管内視鏡検査の日程拡大により、ニーズの高い検査をより多くの方に受診いただけるようにします。

． 予防健診事業

1.巡回健診

- (1) 家族健診を強化（平成30年11月より5班へ増班）し、受診者の増加を図ります。
- (2) 平成28年度に導入した出張健診システム（スマートJワン）をバージョンアップさせ、検査機器との連携拡大や、特殊健診システムとの連携を実施します。
- (3) 姫路事務所を活かした業務の拡大、効率的な健診業務の運用を図るとともに、兵庫地区の新規健診拡大を行います。

2.総合健診センター

- (1) 午後の人間ドックの開催枠を拡大するとともに、午後の上部消化管内視鏡検査や婦人科検査を通年実施し、需要増加に対して受診枠を確保します。
- (2) 「第三期特定健診・特定保健指導」に対応するために、健康指導体制を確立し、当日特定保健指導を午後にも実施します。
- (3) Web予約の利用促進やコールセンターの一部外注化等を行い、予約受付業務を強化します。

3.神戸健診クリニック

- (1) 10階新フロアを有効活用し、人間ドック・各種健診を拡大します。
- (2) 上部消化管内視鏡検査の日程を拡大し、受診者のニーズに合わせた検査体制を構築します。

． 検査指導事業

1 . 環境保健

- (1) 特殊健康診断を実施している事業場に対し、当会事業場担当者との連携を強化し、更なる作業環境測定等の提案活動を継続的に行ないます。
- (2) 今後法改正が見込まれる新規物質への分析準備、新規分析受託に対応します。

2 . 産業保健

- (1) 出張健診において、「第三期特定健診、特定保健指導」に対応した保健指導体制により、生活習慣病の予防と重症化の抑制を推進します。
- (2) 産業医活動・保健師活動サービスを実施し、事業場の健康管理担当者や健康管理室との連携を強化します。